

令和5年7月6日

【最高情報統括責任者補佐官(CIO 補佐官)に千葉大右氏が就任】

デジタル部業務改革課

裾野市では、日本一市民目線の市役所実現のため、日本一デジタルを活用した業務改革を推進していくこととしています。

そこで、当市における DX の推進に当たり、情報通信技術(ICT)の知見を有する外部人材を最高情報統括責任者補佐官(CIO 補佐官)として登用することとし、市長は令和 5 年 7 月 1 日付けで、千葉大右(ちば・だいすけ)氏を任命しました。

今後、市長のリーダーシップの下、最高情報統括責任者(CIO=副市長)が推進する DX の取組について、専門的な知識経験及び識見に基づき助言及び提言をしていただきます。

最高情報統括責任者補佐官(CIO 補佐官)について



千葉 大右

ちば・だいすけ

所属・役職

デジタル庁 地方業務標準化エキスパート
特定非営利活動法人 Digital Government Labs 代表理事

略歴

1994 年 船橋市入庁
2020 年 特定非営利活動法人 Digital Government Labs 設立
2023 年 デジタル庁入庁

専門分野

地方公共団体の基幹業務システムの統一・標準化

これまでの経験
業務・研究活動

- ・基幹業務システム(ホストコンピュータ)の運用管理
- ・基幹系ネットワークの運用管理
- ・住民記録システム再構築プロジェクト
- ・マイナンバー制度導入
- ・総務省業務改革モデルプロジェクト事業(書かない窓口)
- ・船橋市 DX 推進計画の策定

関与した地域情報化に関するプロジェクト

- ・総務省「地域情報化アドバイザー」
- ・デジタル庁「窓口 BPR アドバイザー」
- ・総務省「地方自治体のデジタルトランスフォーメーション推進に係る検討会」構成員
- ・総務省「住民記録システム等標準化検討会」構成員
- ・総務省「地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドラインの改定等に係る検討会」構成員
- ・デジタル庁「トータルデザイン実現に向けた自治体タスクフォース」委員

選任の理由

- ・ 行政職員として活躍するとともに国の委員会等の構成員も務めるなど、当市が進めている業務改革や基幹業務システムの統一・標準化を見据えたシステム環境整備等の分野において、専門的な知識経験を持つため
- ・ 自治体職員らが中心となって立ち上げた団体の代表理事として、官民の垣根を越えた活動を展開するなど、知識経験に加えて幅広い人脈を持つ、行政のデジタル化分野において注目のデジタル人材であるため
- ・ 当市では、令和 5 年 3 月に市職員向けの研修講師をご担当いただいた実績あり